

令和4年度 一般会計 決算の特徴

※万円未満四捨五入

歳入 …増減した主なもの

市民税	令和4年度 84億24万円	対前年度比 5億3490万円増
固定資産税	令和4年度 70億3404万円	対前年度比 2億4866万円増
国庫支出金	令和4年度 97億1361万円	対前年度比 12億605万円減
市債	令和4年度 20億627万円	対前年度比 43億6006万円減

歳入 決算総額 464億1225万円

前年度対比 8.9%減 (45億3315万円)

歳出 決算総額 434億2621万円

前年度対比 10.3%減 (49億9619万円)

歳入歳出差引額 29億8605万円

実質収支額 27億4829万円

翌年度へ繰り越すべき財源 2億3776万円

歳出 …増減した主なもの

人件費	令和4年度 57億999万円	対前年度比 3752万円増
扶助費	令和4年度 124億2062万円	対前年度比 14億5127万円減
公債費	令和4年度 44億5277万円	対前年度比 4億278万円増
普通建設事業費	令和4年度 28億293万円	対前年度比 33億9291万円減

※端数処理の結果、数値が一致しない部分があります。

意見書

全員賛成で可決

女性の権利を国際基準に

女子差別撤廃条約選択議定書の批准及び国内法の整備を求める意見書

日本は国連の女子差別撤廃条約を批准しているが、実効性を強化し問題を解決するための選択議定書をいまだ批准していない。よって、国に対し男女共同参画社会の実現に向け以下を要望する。

1. 女子差別撤廃条約選択議定書を早期に批准すること
2. 関連する国内法を整備すること

送付日：令和5年9月22日（主意抜粋）

令和4年度 一般会計 決算の認定

議案審議

本会議での質疑をまとめています。

令和5年第3回定例会

8/28

9/22



市民・都市常任委員会が福岡浄水場を視察

市民の生活を守りながら 健全な財政運営を継続

令和5年第3回定例会では、一般会計補正予算や令和4年度一般会計決算をはじめとした各会計決算が認定されました。また、市の中長期的な計画を定めた最上位

計画の後期7年間の基本計画など市長提出議案22件全てが可決されました。さらに、議員提出議案の意見書1件が全会一致で可決され、関係省庁に送付されました。

コロナ禍でも 市税増収に

市税の増加要因は、
調定額で市税全体では令和4年度は令和3年度と比較して、約8億5300万円の増額となった。

現年課税分で、個人市民税は約4億500万円の増額となった。これは経済活動の回復による納税義務者の増加と土地等の譲渡による所得割の増加によるものである。法人市民税は約1億5200万円の増額となった。これは法人納

税義務者の増加と製造業に係る法人税割の増額によるものである。

また、固定資産税は約2億8300万円の増額で、土地区画整理地区の市街化区域編入による増収のほか、家屋の新築等による増収などの要因によるものである。同様の理由により、都市計画税も約4900万円の増額となった。

市税の収納率 県内40市で第1位に

税収確保に向けた取り組みは、
令和4年度における

市税の収納率は、過去最高の99・3%となった。県内の40市中第1位となり、適正な自主財源の確保につながったのである。

課税客体を把握するため、税務署、法務局等との情報共有や連携を図り、IT技術の活用、職員が現場確認を行うなど、多方面からアプローチを行った。

また、各種調査の情報に基づき、必要な人には申告を促し、適正な課税に努めている。

徴収については、納付資力がある滞納者には厳

正な滞納処分を行なっている。その一方で、納付資力のない滞納者には、法令に基づく滞納処分の執行停止を適用している。

国の新型コロナ 交付金の使い道

新型コロナウイルス感染症対策の交付金を活用した事業実績は、
新型コロナウイルス感染症の

影響や、電気料金等の物価高騰に対する様々な事業を実施した。主なものとして、消費活性化クーポン給付事業として約3億6400万円、水道料金・下水道使用

料の減免として約3億1400万円、GIGAスクール構想用のタブレット端末や周辺機器、ソフトウェア等の学習環境整備に約1億2500万円、コロナ禍で物価高騰に直面する障がい福祉・介護サービス事業所等への支援として約3400万円を計上したものである。

創生臨時交付金を約9億1600万円、小・中学校の感染対策や保育所のICT化に係る国庫補助金を約1900万円、保育施設等の光熱水費の高騰に対する支援に係る県補助金を約500万円を充当し、その他に一般財源を活用して事業を実施した。

◆議案に対する質疑

青 監 会 加藤 恵一 議員
公 明 党 川畑 京子 議員
日本共産党 塚越 洋一 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員